

平和を希求する心を育てる取組

報告年月日 平成30年11月20日

都市名・国 松本市

取組の名称	松本ユース平和ネットワーク出前授業
実施主体 (該当項目に✓)	<input type="checkbox"/> 学校 <input checked="" type="checkbox"/> 自治体 <input type="checkbox"/> NGO <input type="checkbox"/> 複合 ( )
テーマ・目的	被爆の実相と現在の核兵器問題
対象者 (年齢・学年、人数等)	小学6年～中学2年の子ども609人
実施場所	松本市立菅野小学校、松本市立旭町中学校、松本市立山辺中学校、松本市立梓川中学校
実施期間	平成29年2月以降、5回実施 ※平成28年度以降、市内小中学校で毎年実施。平成30年度は11月中旬から実施予定
<p>取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>松本ユース平和ネットワーク※1が長崎市平和訪問等の学習成果を活かし、メンバーが小中学生に対して授業を行い、子ども達が平和について考えるきっかけとなるような授業を行うもの</li> <li>学習をもとに作成したプレゼンテーション資料を映写し、被爆の実相や核兵器の特徴、核兵器問題の現状と今後等について、メンバーが自分の言葉で子供たちに語りかける。</li> <li>BB弾15,000発を用いた、現在の核兵器の数を音で体感する仕掛けや、子どもを5～6人のグループに分け、核兵器がなぜなくなるか等の話し合いをしてもらい、飽きがこないような工夫を行っている。</li> </ul> <p>※1：若者が平和について学習し、発信する機会を設けることで、松本から世界へ平和を発信できる人材の育成を図るため、松本市が呼び掛けた若者の集まり</p>	
<p>参加者の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>被爆の実相に触れ、長崎が受けた大きな被害や、核兵器が今も約15,000発存在することに驚いている様子が見られた。</li> <li>核兵器を持つ国の意見として核抑止や核の傘の考え方等を紹介し、核兵器問題をきっかけに平和な世界や社会の在り方について考える子どもたちが多くいた。</li> </ul>	
<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>核兵器問題について、現代を生きる自分たちの問題として捉え、子どもたち自身が平和について考える意識を醸成できた。</li> </ul>	
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちからの質問に対して回答できるよう、メンバーの知識の底上げが必要</li> <li>分かりやすい授業の内容について、さらなる研究が必要</li> </ul>	
<p>取組で使用した素材について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パワーポイント（長崎市で撮影した写真、図書から引用した写真や図、フリー素材のイラスト等を使った解説資料）</li> <li>BB弾（現在の核兵器の数を音で体感する仕掛け） ・平和ハンドブック「平輪」</li> </ul>	
<p>上記素材の共有の可否（取組で使用した素材を、平和首長会議のWEBサイトに掲載し、他都市と共有することに、著作権その他の問題がないか、次からお選び下さい。）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>掲載可能（素材を添付してください） <input type="checkbox"/>掲載不可 <input type="checkbox"/>不明</p>	

※ 画像等の資料がある場合は別ファイルで提出してください。

# 松本ユース平和ネットワーク小中学校出前授業写真記録

## 28年度の模様



## 29年度の模様



## 30年度の模様

